

19 フィリピン

漁港建設事業(II)



本事業により整備されたジェネラル・サントス漁港

[借 款 概 要]

| | |
|-------------|---------------------|
| 承諾額/実行額 | 7,655百万円 / 4,660百万円 |
| 借 款 契 約 調 印 | 1992年3月 |
| 借 款 契 約 条 件 | 金利2.7%、返済30年(据置10年) |
| 貸付完了 | 2000年6月 |

[事 業 概 要]

セブ、ダバオ、ジェネラル・サントスに近代的な漁港を建設することにより、水産業の基礎的なインフラ整備を進めること、及び漁獲後の損失の低減を図り、水産物供給量の増加をめざすもの。

[評 価 結 果]

本事業対象の内、ダバオとジェネラル・サントスでは、岸壁・防波堤等の港湾施設と魚市場、製氷施設、冷凍庫、冷蔵庫、管理棟といった機能施設が造られた。他方、セブ漁港については、開発の必要性・優先度が低くなったため建設が中止された。ダバオ漁港は建設終了後、遠洋漁業船の寄港地として漁獲物の転載を行うことが主要な機能となり、外国船を中心に水揚げ高は1998年以降、年間4,000～6,000トンの水準で推移している。他方ジェネラル・サントス漁港では、利用者の大半が地元の中小規模漁民であり、1999年(漁港運用開始)以降、年間40,000トン以上の水揚げ高を維持している。

ダバオは水産加工業振興に力を入れており、ジェネラル・サントスも有数の水産加工地として発展しており、両漁港は地域経済にとって重要拠点となっている。

両漁港とも維持管理面において、特段の問題はない。